

照陽の家だより

猛暑を超えて待ちに待った敬老会！

9月に入っても暑さは続いています。皆様いかがお過ごしですか？照陽の家の利用者様も元気に猛暑を乗り越えて頂き今年もまた人生の大先輩のご長寿を祝うため職員で敬老会を開催しました。出し物はみんなでズンドコ節を踊りウォーミングアップ！その後、職員による「二人羽織」を披露しました。羽織の中の職員は汗だくでしたが何とか二人協力しておやつを頂く事が出来ました。昼食は心ばかりの祝い膳、いつもの「菓子処 清月」さんの秋の和菓子とお抹茶に笑顔が並びます。当たり前がそうでは無い時代に向かう中、一期一会の敬老会が開催出来た事に感謝の気持ちで一杯です。



感染対策訓練

今年度は『ノロウイルス嘔吐物の処理方法』の訓練を行いました。ノロウイルスは急性胃腸炎を引き起こし、嘔吐が強烈に起きるのが特徴で、感染力が強く少しいウイルス量でも感染します。冬に起こりやすいとされていますが1年を通して発生している事が報告されています。ノロウイルス嘔吐物の消毒は確実にを行う事が重要です。実際に嘔吐の現場に遭遇した職員は慌てることなく汚染を広げない様、確実な消毒を行う為の処理方法手順を今回の訓練を通してしっかり学び合う事が出来ました。



こんにちは！訪問看護ハートケアです。



アドバンスケアプランニングについて、今月もお伝えしていきたいと思ひます。今回のテーマはまずは「アドバンス(A)ケア(C)プランニング(P)って何？」です。

A	Advance (あらかじめ)	あらかじめ(事前)に将来に備えて今からスタートを！
C	Care (世話・配慮・気配り 医療・看護・介護)	医療・介護だけではなく日々の暮らしから考えて。
P	Planning (計画を立てる)	決める事よりも対話をして計画を立てていく過程が大切。

参考:鳥取市 ホームページ・東京都 ホームページ

自分らしく豊かな人生を送るためにACPは一般的な終活支援とは趣が異なり思いをノートに書き完成させるものではありません。私達ハートケア看護師は訪問看護の限られた時間だけでなく照陽の家のフロアで利用者様一人一人に寄り添う事を大切にしています。訪問看護はとかく医療処置だけと思われがちですが私達はご本人や家族様、親しい人、また医療・福祉の関係者とのコミュニケーションを深めご本人の思いを早い段階で少しずつ理解しそのお気持ちを丁寧に繋いでいく取り組みを始めています。

☆私の「ありがとう」メッセージ☆



介護士
清水 茂

こんにちは！介護士の清水 茂です。今年は真夏日を早くから迎えその後長く続く猛暑の中、日々大変でしたが利用者様皆さん、頑張られ乗り越えて頂いています。さて、先日、通所利用の方からとても有難い言葉を頂きました。普段、無口な方ですがご自宅にお送りする際に「今日も暑い中、ご利用頂き有難うございました」とお送りの挨拶をしたところ「こちらこそいつもありがとう。頑張ってるね」と言葉を頂きとても嬉しい思いがしました。ちゃんと頑張っている姿を見て頂いていたんだ、と思い胸に熱いものがこみ上げてきました。今まで頑張ってきて本当に良かったと思いました。その時、なぜか脳裏に祖母や母の顔が浮かび無性に会いたくなりました。その日、帰宅したら妻や家族に同じように「いつもありがとう」と伝えてみようとも思いました。不器用な私ですが相手を思う言葉の力を改めて感じこれからも「ありがとう」という感謝の気持ちを大切に胸に刻み前進していこうと思っています。